

令和7年度 第2回 中部地方整備局事業評価監視委員会 再評価（一括審議）案件一覧

資料5

番号	事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト縮減や代替案等の可能性	事業の投資効率性 上段:前回評価時 下段:現時点		都道府県・政令市 等の意見
1	国道1号 静岡バイパス	自 静岡県静岡市清水区興津東町 至 静岡県静岡市駿河区丸子二軒家	S43年度事業化 S45年度用地着手 S46年度工事着手	1,820 1,865	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない	用地進捗率:約99% 事業進捗率:約88% (令和7年 3月末時点) 静岡県静岡市清水区興津東町 ～静岡県静岡市駿河区丸子二軒屋 L=24.2km 昭和50年度～平成30年度開通(4/4)	・令和7年度は以下内容を実施 【静岡県清水区横砂東町 ～静岡市清水区八坂西町 清水立体】 ・調査推進 調査設計(協議用資料作成等) ・用地買収推進 横砂地区移転補償 ・工事推進 横砂地区ほか改良工、 清水IC第2高架橋ほか上部工、 飯田地区ほか舗装工	・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進する。 ・地盤改良工において、深層混合処理工法(横行施工)を採用することで、施工効率を向上させ、作業時間短縮を図る。	【事業全体】 総便益B:3,567億円 総費用C:2,656億円 B／C＝1.3 【事業全体】 総便益B:4,120億円 総費用C:3,446億円 B／C＝1.2	【残事業】 総便益B:640億円 総費用C:451億円 B／C＝1.4 【残事業】 総便益B:812億円 総費用C:190億円 B／C＝4.3	継続
										・将来OD表の変更(H22センサス→H27センサス)に伴い計画交通量が減少 ・費用便益分析マニュアル改訂に伴い、各便益の原単位、走行台キロの年次伸び率が変更	
2	国道42号 松阪多気バイパス	自 三重県松阪市古井町 至 三重県多気郡多気町仁田	S62年度事業化 S63年度用地着手 H3年度工事着手	550 563	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない	用地進捗率:100% 事業進捗率:約90% (令和7年 3月末時点) 三重県松阪市古井町 ～三重県多気郡多気町仁田 L=11.9km 平成5年度～平成29年度開通(2/4)	・令和7年度は以下内容を実施 【松阪市上川町】 ・調査推進 調査設計(協議用資料作成等) 【松阪市朝田町～松阪市上川町】 ・調査推進 調査設計(協議用資料作成等) ・工事推進 朝田地区ほか改良工、 朝田高架橋橋梁上部工 【松阪市八太町～松阪市射和町】 ・調査推進 調査設計(協議用資料作成等)	・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進する。 ・橋梁上部工事において、狭隘な現場での架設計画にBIM/CIMモデルを活用することで、作業性を向上し、作業時間の短縮を図る。	【事業全体】 総便益B:1,913億円 総費用C:1,019億円 B／C＝1.9 【事業全体】 総便益B:3,159億円 総費用C:1,313億円 B／C＝2.4	【残事業】 総便益B:535億円 総費用C:134億円 B／C＝4.0 【残事業】 総便益B:701億円 総費用C:101億円 B／C＝6.9	継続
										・将来OD表の変更(H22センサス→H27センサス)に伴い計画交通量が減少 ・費用便益分析マニュアル改訂に伴い、各便益の原単位、走行台キロの年次伸び率が変更	